

古瓦流通体制構築の可能性検証や新瓦による古瓦的外観表現技術等の検討及びそれら技術の他地域との連携による安定的継承方策の検討

<調査概要>

■調査実施地域: 島根県江津市 等

■調査実施者: 江津市

- ・日本三大瓦産地の一つ、石州瓦の産地である石見地域において、特徴的な赤瓦景観を維持保存していくために、独特の風合を持つ古瓦の外観上の価値に着目し、古瓦の現状や、利用方法、ストック、ニーズ、流通について調査し、古瓦における古材流通体制の実現可能性について検討を行った。
- ・他に屋根葺き材以外への瓦利用技術についての技術的知見の整理や新瓦の古瓦的表現方法やその概要をガイドブックにまとめるとともに、全国的視点での瓦生産地や赤瓦利用地の地域間連携方策について検討し、その条件や課題について整理を行った。

<調査内容>

古瓦ストック等の現況把握

25地区6,509棟を現地調査、約10%が古瓦葺き(消滅の危機)
⇒空地などに古瓦4万枚、瓦製造業者に6万枚のストック

古瓦利用方策の検討

使用目的に応じた葺き方と技術的知見を整理

古瓦ニーズの把握

古瓦ニーズの把握、古瓦と新瓦の施工価格比較
⇒大分県湯布院市や福島県須賀川市で新築に古瓦を取り入れる事例あり(古瓦ニーズの可能性)
新築のモデル住宅(屋根面積150㎡)で価格が2.3倍の差

屋根葺き材以外への瓦利用技術の検討

陶板焼き用食器、箸置きなどの生活用品⇒ニーズとPRに課題
壁材、床材などの住宅内外装材⇒ニーズと他製品との差別化に課題
メガソーラー敷地材、舗装材やコンクリート骨材⇒他素材とのコスト競合に課題

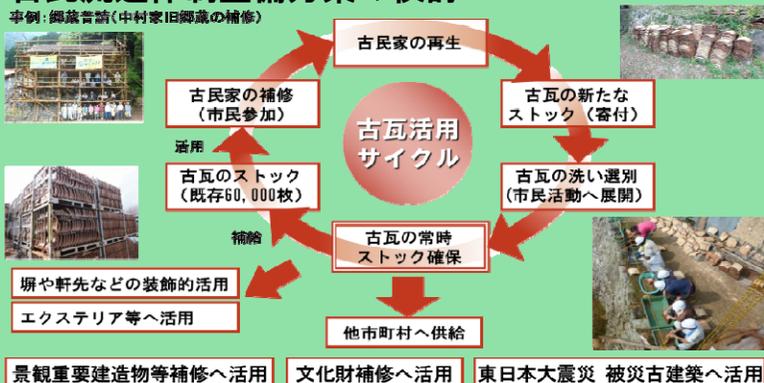


新瓦による古瓦的外観表現技術の検討

新瓦を利用して、古瓦のマンセル値による推奨色を選定
混ぜ葺きにて古瓦への類似可能⇒幾何学的色むらが課題
新瓦を特注することで、一つの窯から自然な色むらのある瓦の生産が可能 ⇒コスト高と生産性が課題

古瓦を活かした屋根の葺き方ガイドブック作成

古瓦流通体制整備方策の検討



瓦関連技術の伝承のための地域間連携方策の検討

石川県加賀市⇒同じ来待瓦と呼ぶ赤瓦が存在 価値観を有し商品活用の連携可
兵庫県朝来市⇒商品、技術の伝播とは無縁 赤瓦の発生要因の探求連携可
鳥取県倉吉市⇒石州瓦伝播の地であり、課題を共有 古瓦、商品活用の連携可
岡山県高梁市⇒石州瓦の技術伝播が判明 赤瓦景観維持創出において連携可
福島県須賀川、白河市⇒歴史の一部としての赤瓦 修復技術と商品活用の連携可

古瓦活用実態と技術、関連商品の存在と商品開発の可能性等に関する情報の共有

【次年度への課題】

安価で簡易な古瓦乾拭き工法の実証と景観重要建造物等、具体的な活用物件を調査検討。各種古瓦屋根の色彩分布範囲を調査し、混ぜ葺きに頼らない古瓦的新瓦の検討と試作。地域間連携を実証し古瓦と古瓦的新瓦および関連商品の具体的流通の可能性を検証。